

# ドリームちゅうおう

3

DREAM CHUOH  
March 2026  
No.338



## 今月号のCONTENTS

- 02 特集「産地を支える、総合育苗センター」
- 04 青壮大年部・女性大学ルミナールの活動紹介
- 05 いつでもそばに みんなのJA
- 06 宮農トピックス

- 08 発見! 地域をつなぐ畜産物語
- 09 直売所探検隊「よってみたい菜」
- 10 JA information
- 11 食卓を彩る 旬のレシピ & 読者からの お便り紹介

12 数 独



## 5 進化する育苗センター

- 令和5年～ 曙天時の光合成を促進させるためLED電照を開始  
令和6年～ スマホでハウス内の温度や湿度、日照量等がタイムリーに確認できる環境モニタリング装置を設置  
令和7年～ スイカの新品種「KK-36」、「倉皇サマー」を導入  
春スイカでも2月下旬からの定植分と4月以降に定植分で、気温がかなり違うため、寒い、暑いといったその時期の栽培気温に適した品種の導入  
令和8年～ 「アース苗」といったポットを使用しない形状の苗の取扱いを試験的に開始  
そのまま土に植えられるため、生産者にとって定植作業の省力化が見込み、またポット廃棄の必要がなくなるため環境にも優しい苗  
スマート農業の導入や技術の進化に加え、生産者のニーズに応じた新品種への対応など多方面から進化を続けています。



LED電照



環境モニタリング装置 スマホ画面

## 6 利用者の声・現場の声



### 【倉吉西瓜生産部会 宮坂 真生 部会長】

- Q 苗づくりの重要性についてどのように感じておられますか  
A 苗がないと始まらない、苗半作という言葉があるくらいなので言わば苗は農家の命だと思います。昨年からの「倉皇サマー」は良かったです。  
Q 今後の意気込み  
A いい苗を供給していただき、それを基に一層生産者も努力しておいしいスイカを届けられればと思います。



### 【総合育苗センター 磯江 正大 センター長】

- Q 総合育苗センターの強味はなんですか?  
A JAが運営しているという組織力が、私たちの大きな強みです。個人ではなかなか難しい取引や連携も、JAというネットワークがあるからこそ実現できます。たとえば、今年から試験的に取り扱いを始める「アース苗」は、個人農家さんには卸していない業者さんの苗ですが、JAの育苗センターだからこそ導入が可能になりました。こうした体制があるからこそ、農家の皆さんのニーズにしっかりと応えられると思います。  
Q 苗を栽培するうえで、大事にしていることはありますか?どういう思いで栽培していますか?  
A 毎年、気候や環境の栽培条件は変わるために、昨年上手くいった方法が今年も通用するとは限りません。だからこそ、「失敗しない工夫」を大切にしています。過去の経験を活かして、「あの時と似ているから、こうしてみよう」と小さな失敗を減らす努力を重ねています。そうやって苗に向かいながら、「より良い苗を作りたい」という思いを胸に、日々取り組んでいます。

## 7 予約方法・受け取り方法

- ①例年10月末 栽培推進座談会にて、苗の注文書を配布  
→予約注文(品種、定植時期、定植本数等)で取りまとめ  
②定植時期間近 注文者は遅くとも2日前までに確定定植日と定植本数の申込を行う  
③定植日前日 育苗センターでは②のデータを基に、引取り日(定植日)前日に必要な数量の苗をコンテナに詰めて、注文者ごとにまとめて準備  
④引取り当日 注文者は案内板に従い苗が保管してあるハウスから自分の苗をコンテナごと持ち帰り定植後にコンテナを返却

育苗センターは、皆さんの農業を支えるパートナーです。可能な限り地域の生産者の要望に応えられるように頑張ります。ぜひ、育苗センターの苗をご利用ください

# 産地を支える、総合育苗センター

## 1 育苗センターとは?

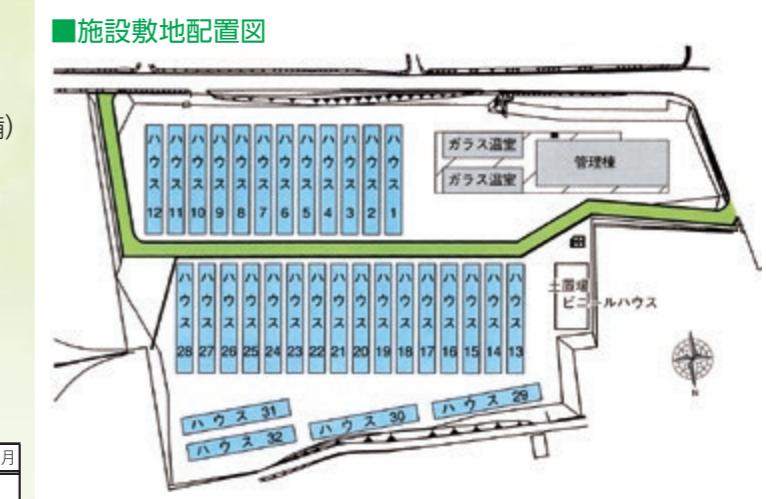
昔から農家では「苗半作」という言葉があるように、苗の良し悪しは作物の出来を大きく左右し、生産者の栽培条件や生計にも直結します。そんな重要な役割を担うのが、倉吉市にある「総合育苗センター」です。平成13年11月の開設以来、スイカやメロンを中心とした果菜苗、白ネギ苗、水稻苗、ブロッコリーをはじめとする秋冬野菜苗など、多様な苗を計画的かつ安定的に出荷し、地域農業を支え続けています。

## 2 総合育苗センターの設備紹介

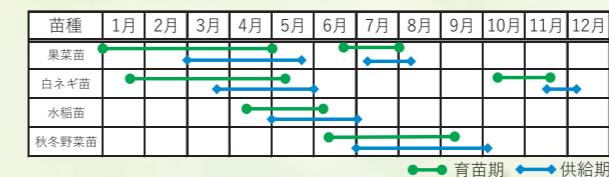
敷地面積:37,000m<sup>2</sup>(サッカーコート約5面分)

- ビニールハウス:32棟(各ハウスに加温機を設備)  
ガラス温室:2棟(加温機を2台ずつ設備)  
出芽室:3棟(加温機を設備)  
接ぎ木室  
播種機

など様々な設備があります



## 3 苗の種類・供給実績



一番、供給量が多いのが水稻苗です。

水稻苗は、約180,000箱供給しており、総面積は約1,000haになります。JA鳥取中央が供給している苗箱数の67%をこの総合育苗センターで生産しています。

次に多いのが、スイカ苗です。

スイカ苗は、春作約293,800本、抑制作32,900本、計326,700本を供給しています。これは倉吉西瓜生産部会の栽培面積102.2haの約90%にあたります。

ブロッコリー苗とキャベツ苗(秋冬野菜苗)では、ブロッコリー苗を約11,100箱(2,220,000本)、総面積は約5haを生産、キャベツ苗では約2,700箱(540,000本)、総面積で約1.1ha生産しています。

白ネギ苗では、年間、苗を約5,700箱(3,500,000本)、総面積は約8.5haを生産しています。

## 4 育苗と出荷までの流れ

1月24日、今年度のスイカ苗の接ぎ木作業の開始に当たり、接ぎ木式を開きました。(式の様子はP7へ)現在、2月下旬からの出荷に向け、スイカの育苗真っただ中。今回はスイカ苗の出荷までの流れをご紹介します。





いつでも  
そばに

# みんなのJA

11/22 久米支所

## ふれあい旅行、香川の歴史と味覚満喫

久米支所は、組合員の親睦を目的とした「ふれあい旅行」を実施し、34人が参加しました。一行は香川県を訪れ、弘法大師生誕の地として知られる善通寺や、現存十二天守の一つである丸亀城巡りに加え、旬のみかん狩りを体験。歴史探訪と季節の味覚を楽しみながら、参加者同士の交流を深める充実した一日となりました。



善通寺の前でハイ、チーズ

12/3・4 東伯支所年金友の会

## 寄せ植え教室

2日間に分けて、寄せ植え教室を行いました。毎年好評で、おしゃべりしながら楽しく活動しました。



1/8 女性会北条支部・大栄支部

## 出雲大社へ初詣

北条支部と大栄支部の会員26人は、出雲大社へ初詣参拝へ行きました。厳かな雰囲気の中、今年一年の健康と幸せを祈願しました。その後は、島根ワイナリーでの昼食や島根県立美術館の見学も楽しみ、新年から楽しい日帰り旅行となりました。



今年も良い年になりますように

1/13

## JAバンク・定期貯金キャンペーン抽選会 当選者20人に“星空舞”5kgプレゼント

倉吉市の本所で、「抽選権付定期貯金あったかキャンペーン」の抽選会を開き、対象者344人の中から、上本武組合長など役員3人で当選者20人を決めました。

キャンペーンでは、先着300人に「よりぞうグッズ」を配布し、11月中旬に1,000万円以上を預け入れた利用者には白バラのケーキをプレゼントしました。キャンペーンは好評で、計画比155%となる4億6,800万円の実績となりました。

当選者の発表は、ホームページでの当選番号の掲載および賞品の発送をもって代えさせていただきます。



1/中下旬

## 湯の花温泉に泊まる 初詣・京都三社参り2日間

今年度のほのぼの温泉旅行は各支所に分かれ、支所ごとに日程をずらして出発しました。

初日は平安神宮と北野天満宮を参拝し、夜は温泉に浸かって癒され、2日目は上賀茂神社を参拝したち嵐山へ足を運び、各自散策を楽しみました。

今年も多くの方にご参加をいただきありがとうございました。また来年も行きましょう。



平安神宮で記念撮影



# 青壯年部の活動



青壯年部のできごとをお伝えします

1/14

## 青壯年部の冬期研修会 組織の基盤学び結束

青壯年部は、倉吉市のJA本所で冬期研修会を開催しました。

組織の基盤を学ぶ講演や、活動発表、パネルディスカッションを通じて、地域農業を担う若手農業者としての結束を強めました。

JA鳥取県中央会の岩本裕己さんが「そもそもJAってなに?」と題し、農業協同組合の成り立ちや理念、段階式の連携体制を解説し、JAグループがいかにして組合員の生活を支えているかを説明しました。

盟友の大田忠敏さんが「みんなで笑CHU! やらいや」と題し、全支部で栽培したサツマイモを活用し、JA役員や地元酒造会社の協力を得ながら芋焼酎の商品化を実現させたプロセスを熱弁しました。

大田さんは2月、中四国地区のブロック代表として「JA全国青年大会」への出場が決定しており、全国の舞台でもこの熱い挑戦を披露します。

パネルディスカッションでは、鳥取県中部総合事務所の安陪誠己農林局長、同JAの戸田勲常務、JA鳥取県青壯年連盟前田佳寛委員長がパネリストとして参加し、農業情勢や今後の展望について語りました。



芋焼酎の商品化を実現させたプロセスを熱弁する大田さん



パネルディスカッションで質問に答えるパネリスト

## JA鳥取中央女性大学 ルミナール

第13期生  
受講生  
募集



受講期間 令和8年5月～12月 定員 20名(新規優先)

\*多数の場合は抽選、10名以下の場合は申込

対象者 倉吉市・東伯郡在住の女性会未加入の18歳～概ね55歳までの女性

\*入学式前日までに抽選

受講料 6,000円 女性会年会費含む

\*入学式前日までに抽選

募集締切 令和8年4月10日(金) 17:00まで

\*カリキュラムの内容や順番、時間が変更になる場合がございます。

カリキュラム(予定) 第1回 5月 入学式・オリエンテーション

\*ホームページ(<https://www.ja-tottorichuo.or.jp/>)でもご確認いただけます。

第2回 6月 防災研修

\*カリキュラムの内容や順番、時間が変更になる場合がございます。

第3回 7月 『家の光』手芸

\*ホームページ(<https://www.ja-tottorichuo.or.jp/>)でもご確認いただけます。

第4回 9月 シャインマスカット収穫体験＆パフェ作り

\*ホームページ(<https://www.ja-tottorichuo.or.jp/>)でもご確認いただけます。

第5回 10月 収穫体験＆『家の光』クッキング

\*ホームページ(<https://www.ja-tottorichuo.or.jp/>)でもご確認いただけます。

第6回 11月 しめ縄づくり

\*ホームページ(<https://www.ja-tottorichuo.or.jp/>)でもご確認いただけます。

第7回 12月 卒業式・謝恩会

\*ホームページ(<https://www.ja-tottorichuo.or.jp/>)でもご確認いただけます。

JA鳥取中央 営農生活課  
TEL 0858-23-3032

倉吉市越殿町1409 <https://www.ja-tottorichuo.or.jp/>  
※個人情報の取り扱いについては、JA鳥取中央女性会活動ならびに女性会活動、JA鳥取中央の各種サービスの提供・共済をすること以外には使用いたしません。



詳細はコチラ▲



申込はコチラ▲

# 農業トピックス

県中部の農業にまつわるトピックをまとめてご紹介します。



接ぎ木後は水や温度の管理を徹底した中で育苗

2月下旬から始まるスイカの定植作業に向け、総合育苗センターでは接ぎ木苗の育苗が本格化しています。24日には、JA役員や倉吉スイカ・メロンの生産部長が集まり、接ぎ木式を実施しました。

この日は10人の作業員が、台木のカンピョウにスイカの穂木を丁寧に接ぎ木。スイカ苗は29万4,100本の育苗を計画しており、2月25日から順次供給していきます。

上本武組合長は「苗の質はその後の生育に大きく影響するため、確実な作業をお願いしたい」とスタッフに呼びかけました。

倉吉メロン生産部は、倉吉市で総会を開き、昨年度の販売実績を報告しました。7品種のうち4品種で1kg当たりの平均販売単価が過去最高を更新。なかでも主力品種のプリンスメロンは1kg平均743円に達し、12年連続で過去最高記録を塗り替えました。

また今年度は、地元消費者向けの試食宣伝会やJA直売所での「メロンフェア」開催を通じたPR活動に注力する方針を確認。出荷量108t、販売金額6,529万円を目標に掲げました。

佐々木敬敏部長は「倉吉の顔であるプリンスを中心に、タカミは品質にこだわって出荷したい。抑制ネットメロンも栽培技術を高め、倉吉の名に恥じないメロン作りを徹底していく」と意気込みました。

1月24日 総合育苗センター  
スイカ・メロン苗接ぎ木開始

2月下旬から始まるスイカの定植作業に向け、総合育苗センターでは接ぎ木苗の育苗が本格化しています。24日には、JA役員や倉吉スイカ・メロンの生産部長が集まり、接ぎ木式を実施しました。

この日は10人の作業員が、台木のカンピョウにスイカの穂木を丁寧に接ぎ木。スイカ苗は29万4,100本の育苗を計画しており、2月25日から順次供給していきます。

上本武組合長は「苗の質はその後の生育に大きく影響するため、確実な作業をお願いしたい」とスタッフに呼びかけました。



夏の高温に強い品種などを学習

同部では、「栽培研究員」を選任し、種苗会社の担当者と一緒に気候や土壤に適した品種や栽培方法を一緒に検討しています。こうした取り組みを踏まえ、R8年度は夏越し性や在圃性を重視し、周年で扱う13品種のうち4品種を新たなものに切り替える方針を周知しました。

岡本昭司部長は「酷暑対策への方向性が決まってきた。今後もロスがない作り方を摸索していく」と意気込みました。

1月28日 倉吉・関金白ねぎ生産部  
周年栽培体系など周知

倉吉・関金白ねぎ生産部は白ねぎ推進座談会を開き、昨年度の販売実績や今年度の周年栽培体系を確認。会後には、種苗会社や農薬会社と、品種や農薬の特性についての勉強会も実施しました。

同部では、「栽培研究員」を選任し、種苗会社の担当者と一緒に気候や土壤に適した品種や栽培方法を一緒に検討しています。こうした取り組みを踏まえ、R8年度は夏越し性や在圃性を重視し、周年で扱う13品種のうち4品種を新たなものに切り替えます。

大栄抑制メロン部会は総会を開き、昨年の販売実績が、出荷量5万4,496kg(前年比106%)、販売金額は1億9,944万円(同101%)だったと報告しました。数量、金額とともに6年連続で過去最高を更新。今年は販売額2億円超を目指します。

同部は昨年、80戸が「プリモレッド」「ヴエルダ」を合わせて18.4ha栽培しました。

会では、県から、活き活きと農業を取り組み地域に貢献している組織として、「いきいき農林水産業組織」表彰を受けたことも報告。樹井康行部長は「活気のある生産者が多いので、この勢いのまま2億円を超える部会を築いていきたい」と話しました。

1月27日 倉吉メロン生産部  
プリンスマロン12年連続で  
1kg当たりの平均単価更新

意気込みを語る佐々木部長

意気込みを語る佐々木部長



意気込みを話す中田部長

泊西瓜部会は、湯梨浜町でR7年度総会を開き、本年度の出荷数は5,786ケースで、販売金額は2,552万円だったことを報告しました。R7年度は、定植直後の降雪で生育への影響が懸念されましたが、3月以降の高温により順調に回復。秀品率も前年を上回る高品質な仕上がりとなりました。R8年度の販売方針では、栽培技術の向上と衛生管理に細心の注意を払い、市場との正確な情報交換で有利販売を目指すと共に。中田洋一部長は「昨年は中身も糖度も申し分ない立派なスイカだった。今年は、昨年以上の高品質、高糖度のスイカ栽培を目指していく」と意気込みました。

1月13日 泊西瓜部会 総会  
前年度実績上回る  
「つまり美人」高品質維持へ



R8年度の計画についても承認

1月14日 赤崎エリザベスメロン生産部 総会  
3年連続1,000万円超

赤崎エリザベスメロン生産部は、琴浦町で総会を開きました。R7年度は、1kg当たりの単価は696円(前年度比6%高)でしたが春先の低温や初夏の高温といった温度管理が難しく、出荷量は16.18t、販売額は1,125万円となりました。それでも販売額は3年連続で1,000万円を上回り、生産者の努力と品質の高さがうかがえる結果となりました。倉長邦彦部長は「R8年度から仲間が2人増える。生産者の圃場を回りながら、温度や水の管理方法を皆さんで学びあい、部として品質の統一を図つていきたい」と話しました。



設立15周年を祝い参加者全員で記念撮影

1月15日 琴浦梨生産部  
販売額10億円を達成  
設立15周年で記念大会

琴浦梨生産部は、琴浦町で設立15周年および販売額10億円達成の記念大会を開催しました。15年間の歩みを振り返るとともに、大台突破の節目を祝い、さらなる産地の発展を誓いました。記念講演では、大果大阪青果株式会社の植田部長が「琴浦梨への期待、市場観点からの産地要望」と題して登壇。藤井憲人部長は「年々辞めていく方が多い一方で、若い入会者も増えている。若手を育成し、活気ある産地の維持に全力を挙げたい」と意気込みを語りました。

琴浦西瓜生産部会は、湯梨浜町で選果場統合30周年記念大会を開催し、30年間の歩みを振り返るとともに、さらなる産地の発展を誓いました。昨年度の販売金額は統合後最高となる15億2,000万円を記録。式典では、宮坂真生部会長が「30周年を迎えたことは大きな喜び。まだ倉吉のスイカを知らない全国の方々にも届くよう、知名度向上に努めたい」と意気込みを語りました。

出席者には記念品として、統合30周年記念大会と刻印されたタンブラーが配布されました。



統合30周年を参加者全員でお祝いした

1月21日 倉吉西瓜生産部会  
選果場統合30周年大会開催

7

# 畜産物語をつなぐ



地  
域  
発  
見  
！



「県中部から優秀な種雄牛を生産しようと！」と和牛生産部の若者グループは昨年からプロジェクトを始動中！種雄牛とは、優れた子牛を産ませるために選ばれた特別なオスの牛のこと。今回は「若者会」のリーダーを務める鷲見さんにお話を聞いてきました。

**昨年から種雄牛生産に向け動き出されていましたよね。どういう思いでスタートされましたか？**

「やりましょう」と動き出しました。まずは和牛生産部で話が出て、やるなりこれからを担う若い人が取組んだ方がより思い入れのある牛になるんじゃないかなという声が上がり若者会で「やりましょう」と動き出しました。目標としては、これまでの種雄牛「白鵬85の3」を超えるような牛ができると思います。「白鵬85の3」は枝肉成績など全国トップクラスの実績

を持つ牛で、自分たちにとつて越えなければならない大きな壁です。それを超える牛を生み出したいです。

**まず母牛の選定から始められたそうですね**

はい、まずは母牛の遺伝子情報（ゲノム）を調べるところから始めました。ゲノムでは10項目近い能力が数値でわかり、若者会ではその中でも特に枝肉重量」と「脂肪交雑」の数値を重視しています。その数値を基に、昨年は10頭の優秀な母牛を候補として選定しました。

**難しさや苦労している点はどんなところですか？**

母牛を選んで種付けをしても、うまく受胎するかどうかは分かりませんし、生まれてくるのがオスかメスかも運次第。正直、ギャンブルです。どうしても母牛に頼る部分が大きいので、個人的に来年は候補となる母牛の頭数をもっと増やしたいと考えています。

**あの大切な味を失いたくない。受け継いだ味を守り続けて。**

一般社団法人 あいおい 代表

小谷 紀央さん



倉吉市八屋150-1 TEL/47-4197 営業時間/9:00~17:00

昔、韓国料理済州道というお店がありました。そちらで大将と奥さんが料理の提供とキムチの製造をされていました。当時僕は常連客で色々な手伝いもしてたんですけど、そういう繋がりがきっかけですね。しかし、時の流れは残酷なもので、大将が急逝。残された奥さんも脳梗

4種類とも美味しいキムチです！



切った白菜を塩漬けします 月曜と木曜は白菜を60玉ります

塞を悪い、韓国に住む娘さんが「こっちに戻ってきたら？」ということを言っていたみたいなんですけど、「この味を継承してから、韓国へ帰ったい」そんな奥さんの切実な願いを託されたのが、他でもない僕でした。予期せぬ白羽の矢に驚きはありませんでしたが、あの大好きな味を失いたくない一心で継続させていただいたのがきっかけです。当時は「浅漬けキムチ」と「チャンジャ」の2種類のみでしたが、現在はお客様からの要望で開発した「カワテキ」と青パパイヤとなりました。僕たちのキムチ作りは、手作業をより大切にしています。材料は信頼する農家さんから直接仕入れ、唐辛子は本場韓国産の2種類をフレンド。ベースの味は守りつつも、素材の持ち味を最大限に引き出すため、野菜ごとに配合を微調整しています。例えば白菜は、指先で触れた際に「パキッ」と割れない証拠です。理想的な脱水加減を掴めるようになります。

辛い味付けは、チヂミやビビンバ、キムチ鍋とも相性抜群です。チャンジャは冷奴にのせるのがおすすめ。先代から

まだまだ寒い日が続きますが、直売所で新鮮野菜を買って元気に乗り切りましょう。



受け継いだ大切な味を、これからも長く、そして新しさを丁寧な下準備が、独特の食感を生み出します。製造現場では常に鮮度に気を配ります。夏場は冷房を効かせ、計量後は即座に冷蔵庫へ。白菜なら2日、味の染み込みにくい大根は3日。食べてくださる方の笑顔を想像しながら、一步してから塩を抜くなど、手間と時間はかかりますが、この変えました。一度冷凍して柔らかくしてから塩を抜くなど、手間は細切りへと形を変えました。一度丁寧な下準備が、独特の食感を受け継いだ大切な味を、これからも長く、そして新しさを加えながら守り続けていきます。1パック1パックに込めた受け継いだ味をぜひ賞味ください。



## 和牛せり情報

1月15日 開催

### ■JA鳥取中央

	頭 数	最高価格	平均価格	kg 価 格
雌	47	990,000	685,182	2,393
去	63	1,435,500	830,011	2,681
計	110	1,435,500	768,130	2,564

### ■県全体

	頭 数	最高価格	平均価格	kg 価 格
雌	108	990,000	681,898	2,416
去	137	1,435,500	795,789	2,564
計	245	1,435,500	745,584	2,502



Vol.7

すみ 鷲見 祐介さん  
(倉吉市)

### プロフィール

就農：7年半

畜種：繁殖・酪農

頭数：和牛6頭  
育成1頭  
子牛9頭

趣味：スマートフォンで読書

みんな向上心があり、「次にこんな牛を育てたい」「あんな風になりたい」などと目標をもって取り組んでいます。先輩農家には少し聞きにくいくことも、気軽に話したりできるのもいいところです。

**鷲見さん個人の目標はありますか？**

「君の牛を貰いに来た」と言われる牛を育てていきたいです。



# 旬のレシピ

目にも体にも優しい、野菜の彩りを楽しむ料理



## ブロッコリーのオイル蒸しとしらすのパスタ

ブロッコリーの栄養を逃さず食べる春色パスタ

### 材料(2人分)

ブロッコリー…1株(200g) 塩 …… 大さじ1+2つまみ  
ニンニク …… 2片(10g) パスタ ………… 200g  
唐辛子(お好みで) …… 少々 しらす ………… 20g  
オリーブ油 …… 大さじ2 こしょう ………… 少々  
水 …… 2L+300ml

### 作り方

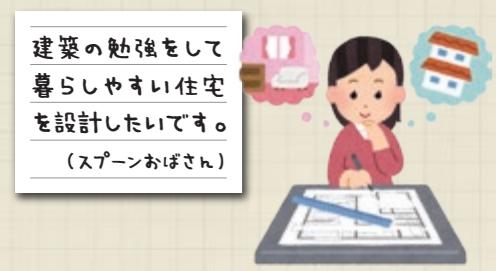
- 水(2L)に塩(大さじ1)を入れて沸かしておく。ブロッコリーは小房に分けて、軸は外側をむいて細かく切る。ニンニクはみじん切りにする。
- ニンニク、唐辛子、オリーブ油をフライパンに入れて弱火で加熱する。香りが出てきたらブロッコリー、水(300ml)、塩(2つまみ)を入れてふたをし、中火でオイル蒸しにする。10分たらフライパンの中でブロッコリーをよくつぶし、しらすを混ぜ合わせておく。
- パスタを袋に表記された時間通りにゆで、ゆで上がったら②に絡める。仕上げにこしょうとオリーブ油(分量外)をかけて出来上がり。

### ポイント

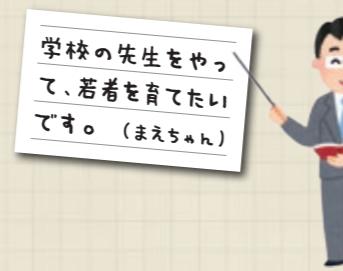
ブロッコリーをくたくたになるまでゆでるのがポイントです。味見して塩味が足りなければパスタのゆで汁を少し加えましょう。

### アレンジ

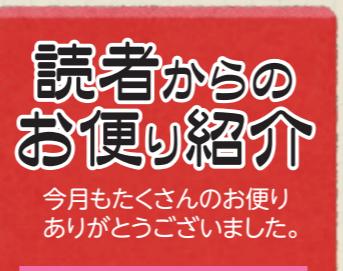
- しらすの代わりにアンチョビやたらこを使う
- レモンを搾ったり、粉チーズをかける



建築の勉強をして暮らしやすい住宅を設計したいです。  
(スプーンおばさん)



学校の先生をやって、若者を育てたいです。(まえちゃん)



今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題  
人生が二度あるなら、次はどの職業で何をする?  
教えて下さい。



【次号のお題】  
「捨ようと思って、どうしても捨てられなかつた」  
たくさんのお便りをお待ちしております。



外科医です。今まで手術を5回経験しましたが、今も元気に勤けるのはDrのお陰です。  
(牛さん)

できるなら、新聞記者とか小説家など、物を書く仕事をしてみたいですね。  
(朝倉さん)



JA鳥取中央



# あぐりキッズスクール

第23期

## 入校児童募集!

JA鳥取中央は、未来を担う子どもたちに農業体験を通して「農業の大切さ」「食べることの大切さ」「いのちの大切さ」を伝えるため、各種関係団体と連携をはかり、食農体験学習に取り組んでいます。

**実施期間** 令和8年4月～12月(原則土曜日の午前中開催)合計9回

**対象者** JA鳥取中央管内の小学生新3年生～6年生(現2～5年生)と、その保護者

**募集定員** 40名(20名×2クラス) ※定員オーバーの場合は抽選  
1組(倉吉・三朝地区) 2組(湯梨浜・北栄・琴浦地区)

**受講料** 7,000円

(子ども向け農業雑誌「ちゃぐりん」の年間購読料(6,600円)に充てます)

**申込方法** JA鳥取中央ホームページ「あぐりキッズスクール入校申し込み」受付フォームに必要事項を入力して送信してください。

**その他** ①保護者参加とし、現地集合、現地解散で行います。

②活動の記録として、写真の撮影をいたします。撮影した写真は予告なく広報誌やホームページなどに掲載する場合があります。また、テレビ、新聞などのメディアが取材し、報道される場合もあります。予めご了承ください。

応募期間

令和8年 3月9日(月)～3月16日(月)

主催/JA鳥取中央 後援/JA鳥取県中央会・(一社)家の光協会 特別後援/新日本海新聞社

お問い合わせは事務局へ

事務局/JA鳥取中央 総務部 広報課 TEL23-3012 FAX23-3070

JA鳥取中央ホームページ →



お問い合わせ、ご用命は  
(株)JA中央サービス LPガス課 TEL.0858-47-0220

## 中部地域農作業安全・農機具盗難防止協会からのお知らせ 電動剪定バサミでの事故にご注意ください!

こんな事故が…

電動バサミで剪定中に、枝を押さえていた左手の人差し指を誤って切ってしまった。

できる対策

- ハサミを持たないほうの手を電動剪定バサミに近づけない!
- もし枝を持っても安全な距離とる!
- 防刃手袋・耐切創手袋等を着用!
- ゆったりした服は着用しない!

○昼前・夕方など仕事終わりが近づくと事故の発生リスクが高まります。常にゆとりを持った作業で事故を防ぎましょう。

JA鳥取中央 葬祭センター

TEL(0858)47-0983  
FAX(0858)47-0981

0120-80-9831 通話料無料  
24時間受付



メモリアルホール  
報恩舎  
〒682-0017  
倉吉市清谷町2丁目143  
TEL(0858)47-4300  
FAX(0858)47-4320



メモリアルホール  
福本  
〒682-0604  
倉吉市福本220-1  
TEL(0858)48-2100  
FAX(0858)48-2101



メモリアルホール  
あじさい  
〒689-2303  
琴浦町徳万282-13  
TEL(0858)53-1184  
FAX(0858)52-3943



# 数独

今月のプレゼントは

「地元の農産物を使った加工品」を5名様に



## 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

### ルール

- (1)空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- (2)タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

**【考え方】**タテ列やヨコ列、3×3マスの各ブロックで、同じ数字が重複しないように数字を入れていくパズルです。計算は不要ですよ。例題で解き方を覚えましょう。右下のブロックには、まだ2が入っていないので、4つある空きマスのどれかが2になるはず。同じタテ列やヨコ列に2がない空きマスは、6のすぐ右のマスしかないので、2の入る場所はここだと決められます。このように、確実に数字が決められる場所を、注意深く根気強く探していくましょう。

例題	例題の答え
7 2 9   5 8   6 1   3   4 4 9   1 3   7 8   9 2   5 2   5   7 6   3 7   4 1   1 4     5 3 3   1   6 5   4 3   2 9 8	3 7 2 9 4 5 8 1 6 8 1 6 2 3 7 5 4 9 4 9 5 6 8 1 3 2 7 1 4 7 8 6 9 2 3 5 9 2 8 1 5 3 6 7 4 6 5 3 7 2 4 1 9 8 2 8 1 4 9 6 7 5 3 7 3 9 5 1 8 4 6 2 5 6 4 3 7 2 9 8 1

9	8	7						1
			2					3
4				3				
5				4				
	3				6			2
		8						7
		1						
1			6					
2			9	8	5			

### 応募要項

はがきやメール、FAXで①よかった記事と理由②今月号のクイズの答え③郵便番号④住所⑤氏名⑥電話番号⑦次号のお便りのお題「捨てようと思って、どうしても捨てられなかつた物」の回答を書いてお送りください。数独正解者の中から抽選で5名の方にプレゼントいたします。

【宛先】 〒682-0867 倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛  
メール／kouhou@ja-tottorichuou.or.jp FAX／0858-23-3070  
応募締め切り／3月6日(金)

\*当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。  
\*個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。



2月号の答え  
6



応募  
お待ち  
しております

伝える、支える。  
農業が変わる。



中四国版  
紙面には、JA  
鳥取中央の記事が  
随時掲載されて  
います!  
ぜひご覧くだ  
さい!!

お近くの新聞販売店  
から毎日お届けします。

購読料 月極  
紙 版 3,100円(税込)  
電子版 2,403円(税込)

— 購読のお申し込みは、各支所 組合員課までお問い合わせください。 —



購読料 年額  
9,900円(税込)

誌代1年分を  
年間予約として  
購読料をお支払い  
いただくと普通月号  
1か月分が無償と  
なっております

\*原則として、年間予約購読(前納)の中途解約はできません。  
※1冊からでもご購読できます。

### 編集後記

今日は、琴浦梨生産部が15周年、倉吉西瓜生産部会が30周年を迎え、それぞれの部が盛大に開いた記念大会などの取材に行ってきました!たくさんの生産者さんや市場関係者さんが集まつてあり、どちらの会も集合写真を撮影するのに緊張しました。特に、琴浦梨生産部では、約140人と今までにならぬ人数で画角に収められるかドキドキでした。(後日、宮農センターの課長が写っていないことが分かりました。。。)また、特集の記事を作成するため、育苗センターへたくさん行きました。寒い時期でも苗を育てるため電熱線を地面に埋め込んでいたりLED電照を使ったり、スマホで温度や湿度をチェックしたりと意外なハイテクさに驚きました。来月は、倉吉西瓜生産部会さんが日本農業賞の大賞を受賞した記事を掲載します。お楽しみに!

広報課